

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 30. 5. 25 第 196 回国会第 8 号

5 月 25 日（金）、第 8 回の委員会が開かれました。

1 国の安全保障に関する件（イラク派遣の日報等）

- ・イラク派遣の日報等に係る調査について、小野寺防衛大臣から報告を聴取しました。
- ・小野寺防衛大臣、大野防衛大臣政務官、福田防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

中谷真一君（自民）

- ・自衛隊がオペレーション中の日報を情報公開請求に基づき開示することは、自衛隊員を危険にさらすおそれがあることから、情報公開法を改正し、30 年後に完全開示するなど、一般の行政文書と異なる取扱いにすべきと考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・自衛隊の国際平和協力活動に関し、防衛大臣等が現地に赴いて隊員を激励するとともに、その状況をメディア等を活用し積極的に発信することにより国民の理解を促すべきと考えるが、情報発信に係る予算確保も含めた今後の取組について、福田防衛大臣政務官に伺いたい。

浜地雅一君（公明）

- ・陸上自衛隊研究本部教訓課からイラク日報の存否に係る報告を受けた可能性のある陸上幕僚監部に対し、「イラク日報」に関する調査チームは調査を行ったのか。また、それは、どのような方法で行ったのか、大野防衛大臣政務官に伺いたい。
- ・日報を電子データ化した上で一元管理を行うことにより、今後増加が予想される情報公開請求に対し、迅速に対処することが可能になると考えるが、一元管理のための体制整備に向けた取組について、小野寺防衛大臣に伺いたい。

宮川伸君（立憲）

- ・南スーダン日報の管理状況に関する特別防衛監察の過程で、平成 29 年 3 月 27 日にイラク日報を発見したにもかかわらず、陸上幕僚監部に報告を上げなかった陸上自衛隊研究本部教訓課に対する調査が、今回の「イラク日報」に関する調査チームの調査で十分であったと考えているか、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・防衛省は「イラク日報」に関する調査チーム報告書等とともに当該問題に係る再発防止策を発表しているが、同再発防止策に、国民からの情報公開請求や野党からの資

料要求に対して誠実に対応すべき旨を記載する必要があるのではないか、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

- ・陸上自衛隊研究本部教訓課を除く、現在イラク日報が確認されている陸上幕僚監部衛生部等において、南スーダン日報の管理状況に関する特別防衛監察の過程でイラク日報の存在を認知した者がいなかったかを調べるべきと考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

広田一君（無会）

- ・小野寺防衛大臣は、イラク派遣の日報を巡る調査の結果に関し、「シビリアンコントロールに反するとの行為はなかった」、「意図的な隠ぺいは確認できなかった」という趣旨の発言をしていたが、シビリアンコントロールの観点からこの調査結果をどのように評価しているのか、同大臣に伺いたい。
- ・小野寺防衛大臣は、稲田元防衛大臣からのイラク日報の探索指示が徹底されていなかったこと及びその探索結果が同元大臣に報告されていなかったことが防衛省・自衛隊への国民の信頼を失墜させたと認識した上で、今般の調査に取り組んだのか、同大臣に伺いたい。
- ・大野防衛大臣政務官は、大臣の指示に対する報告が必ずしもなされなくてよいとも受け取れる答弁をしているところ、それでよいとするならば、危機管理を担う防衛省・自衛隊は、組織として成り立たないと考えるが、同政務官の見解を伺いたい。

後藤祐一君（国民）

- ・イラク派遣の日報問題に関し、統合幕僚監部による小野寺防衛大臣への報告が、陸上幕僚監部から報告を受けた本年 2 月 27 日から約 1 か月を要した点について、調査報告では「直ちに一報すべき」との評価がなされたが、どの段階で一報があるべきだったのか、また、今後、これまで国会等でなされた説明とは異なる事実が明らかになった時には、事実だけでも直ちに報告を求めると言うべきではないか、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

- ・平成 29 年 2 月 22 日に統幕参事官付の職員が作成、送信した日報再探索メールの内容が曖昧であったことがシビリアンコントロールを害した要因であると考えているが、本メールは上司の指示を仰ぐことなく、当該職員が自らの判断で作成したものなのか、小野寺防衛大臣に伺いたい。
- ・文書開示請求への回答に際し、陸上自衛隊研究本部教訓課の情報公開担当職員が、同課の書棚にあった外付けハードディスクには個人資料しかないとなしと認識して探索することなく、上司の決裁も得ずに保有していない旨回答したとは信じられないが、その真偽について小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

赤嶺政賢君（共産）

- ・防衛省における行政文書ファイル管理簿について、多くのファイルが抽象的な名称で登録されているとの報道（平成 30 年 5 月 13 日付毎日新聞）があるが、これが事実であれば、なぜ行政文書ファイル名を抽象的にしていたのか、情報公開請求を回避する意図があったのではないかと、小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・同報道を受けて行われている行政文書ファイル等の名称に関する調査において、取材対応しながら上司等に報告しなかった者について調査するのは、職員を委縮させ、防衛省内部の間違いを国民目線で是正することを困難にするため、やめるべきと考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・イラク派遣の日報を巡る調査については、今般の調査報告書で事実関係が明らかになったとは言えないことから、調査を継続するべきと考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

下地幹郎君（維新）

- ・東日本大震災に関連して、「トモダチ作戦」に参加し被爆した米空母「ロナルド・レーガン」の乗組員が東京電力を相手として損害賠償請求訴訟を提起していること及び小泉元内閣総理大臣がその訴訟費用を支援していることについて、政府の認識を伺いたい。
- ・政治家である防衛大臣が事務方に指示をする際のマニュアルが必要であると考えているが、日報問題の教訓から活かされていることはあるか、小野寺防衛大臣に伺いたい。
- ・今後、日報の管理・分析について新しい考えで取り組む気持ちはあるか、小野寺防衛大臣に伺いたい。

照屋寛徳君（社民）

- ・イラク派遣の日報問題について、稲田元防衛大臣の責任は重大であると考えているが、同元大臣に対する探索指示に関する事情聴取を行わなかった理由及び事情聴取を少なくとも報告書の信頼性が保たれるか否かについて、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・イラク派遣の日報問題に関係する幹部への処分が軽すぎるとの批判及び小野寺防衛大臣の監督責任を問う声があることに対する同大臣の認識を伺いたい。
- ・宜野湾市教育委員会の調査によると、普天間第二小学校の児童が、普天間基地を離発着する米軍機の同小学校への近接飛行により、約 3 か月間に 367 回も校庭から避難しているとされるが、こうした避難の実態についての受止め及び近接飛行をさせないための実効性ある対策について、政府に伺いたい。